

令和8年度 杉並区立小中一貫教育校 高円寺学園 学園経営方針・計画

I 令和8年度学園経営の最上位目標…児童・生徒の個性を伸ばし、潜在的な可能性(Potential)を開花させる「One and Only (唯一無二)」の学園づくりをさらに深化させます。

II 令和8年度の重点とする目標…



- 1 教育目標「たくましく生きる」を教育の重点に、児童・生徒の「人権・いのち・安全」を守る教育を進めます。
- 2 児童・生徒の潜在的な可能性を開花するため、「デジタル学習基盤」と「高円寺のまちの力」を活用した質の高い探究的な学習等を進めます。
- 3 一人ひとりのウェルビーイングを高めるため、児童・生徒が多様性を認め合い、自己肯定感と他者信頼感を高める学園を実現します。
- 4 カリキュラムの実施や学校運営に伴う教員の負担・負担感を極力減らし、使命感をもち教育にあたる教職員のウェルビーイングを実現します。

「杉並区教育ビジョン 2022」に基づき、以下を本学園として実現する。

目指す学園の姿「学び舎 高円寺」

- 主体的・対話的な学びを大切にする学園
- まちのコミュニティの核になる学園
- 地域の就学前施設と連携し幼児期の学びを生かす学園
- 互いの人格を尊重し、共生社会の基礎作りを目指す学園
- すべての教職員が「チーム高円寺」の意識で学園づくりに取り組む学園

高円寺学園教育目標

深く学ぶ
互いを助け高め合う
◎ たくましく生きる

教職員のあるべき姿勢「高円寺シップ」+

- かかわりにつながりを大切にしよう。
- まちに支えられている学校という意識でこれからのまちをつくる人を育てよう。
- 学校運営協議会、学校支援本部とともに教育活動を展開していこう。また、地域人材を積極的に活用し、指導に活かすとともに、われわれも積極的にまちに出ていこう。
- 高円寺北子供園・幼稚園・保育園等、近隣就学前の教育施設との連携教育を継続していこう。
- 高円寺の伝統と文化を継承し、まちに貢献していこう。
- 地域の防災拠点としての取り組みを継続していこう。

方針1 児童・生徒の「人権・いのち・安全」を守ります

【経営方針・計画事業等】

- (1) 「人権意識＝やさしい心・思いやりの心・多様性を尊重できる心」を育むために、人と人のかかわりを大切にした教育を前に進めます
- (2) 学園内の人間関係において、互いの人格を尊重し合うために、相手の名を呼ぶ際に「さん付け」を慣行します。
- (3) 「高円寺学園 いじめ防止基本方針」及び「東京都教育委員会いじめ総合対策【第3次】」に基づき、未然防止型のいじめ防止の取組を進めます。発生したいじめ事案については、被害者及び家族に寄り添い、「継続しない」「再発しない」対応を徹底します。
- (4) 弁護士の方による「いじめ防止授業」を第4・7学年で実施します。
- (5) 児童・生徒のデジタルシティズンシップを育て、SNS等にかかわる人権侵害行為の当事者（加害・被害）となる事案の発生を防ぎます。
- (6) 学園内外での重大事故の防止に向け、安全指導・安全管理を徹底します。
- (7) 児童・生徒を性被害から守る「いのちの安全教育」を充実します。
- (8) 児童・生徒の防災意識を高めるため、地域と連携した防災教育を進めます。
- (9) 児童・生徒の健康に生きようとする力を高めるため健康教育・食育を進めます。
- (10) 地域の方と教職員・保護者が意見交換をする「CS カフェ」を開設します。

方針2 質の高い探究的な学習や体験的な学習を行います

【経営方針・計画事業等】

- (1) 充実したデジタル学習基盤を活用した質の高い探究的な学習(児童・生徒の主体的な課題設定・追究・解決を大切にする学習)を日常的に実施します。
- (2) 全児童・生徒の高円寺のまちの「文化」、高円寺学園の未来を担おうとする心を育てます。(阿波おどりを学ぶ、踊る行事・地域貢献活動等)
- (3) 小・中学部において、少人数、チームでの指導による、英語教育を実施します。また、小学部英語活動・英語科等において、中学部生徒による授業支援を実施します。
- (4) 小学部授業において、中学部教員による乗り入れ指導を定期的に実施します。
- (5) 地域について学び、地域の方々と交流を深める活動を通して、高円寺のまちと人を愛し、地域に貢献しようとする心を育てます。
- (6) イマジナスや大学等と連携し「探究的に学ぶ子どもの育成」について研究と実践を行います。
- (7) 確かな学力の向上に向け、精度の高い学習評価を実施するとともに、家庭学習時間・内容の改善に向け、評価結果の児童・生徒、保護者との共有を図ります。
- (8) 総合的な学習の時間のカリキュラム改訂に向けた研究を推進します。

方針3 児童・生徒の自己肯定感と他者信頼感を高めます

【経営方針・計画事業等】

- (1) 小中一貫教育校のよさを生かし、小・中学部児童・生徒、上級生と下級生、小学部児童と就学前の幼児が豊かにかかわり合う活動(交流)を活性化します。
- (2) 児童・生徒の学級内でのウェルビーイングの実現状況を把握するため、WEB QUTESTを実施し、その分析等を生かした学年・学級経営を進めます。
- (3) 体育祭・文化祭など、熱気あふれる学校行事を実施します。
- (4) 児童・生徒の実情に優しく寄り添うインクルーシブ教育を充実します。
- (5) 特別支援学級と通常学級との交流を充実します。
- (6) 近隣校と提携し、専門家による運動部(スポーツクラブ)の活性化等、体力向上に資する取組を進めます。生徒の要望により地域と連携による文化部を新設します。
- (7) 全教師が児童・生徒の自己肯定感と他者信頼感を高める指導・支援及び、学年・学級経営、行事運営を行います。
- (8) スクールカウンセラー等との連携を一層深め、学級に居づらい、行きづらい児童・生徒の心を整える居場所「ほっとスペースこうえんじ」をさらに充実します。
- (9) エリア内就学前教育施設等との連携(幼保小中連携)を深めます。

方針4 教職員の「ウェルビーイング」を実現します

【組織経営・教職員の育成等にかかわる経営方針・計画事業等】

- (1) 地域運営型学校として、学校運営協議会、学校支援本部、地域教育推進協議会等、地域と協働した経営及び教育活動等を進めます。
- (2) 教職員の心理的安全性を管理職が把握し、必要があれば面談をしたり、産業医等につなげたりする等の対応が図れる仕組みを整えます。
- (3) 主幹教諭を中心とした小中学部の協働を進めます。
- (4) 校内の専門職や外部人材等を活用し、組織の多様性を高め、レジリエンス(様々な困難から立ち直る力)の高い学校組織を実現します。
- (5) 区教委の協力を得て、教員の授業力を高めます。また、互いに授業を見せ合い授業づくりを考える「OJT」を進めます。
- (6) PC活用能力を教師の学習指導力として能力開発を行います。

【働き方改革等にかかわる経営方針・計画事業等】

- (1) 校務の協働化と校務DX(デジタル化)を進めます。
- (2) 校務PCを活用したタイムマネジメントを全教員が進めます。
- (3) 産業医からの指導等を受け、安心な勤務環境を実現します。
- (4) 教職員に「働き方改革『しあわせ』ルール」の意識化を図ります。